

駅のリニューアルが盛んです。中でも、都市を代表する駅では、劇的に姿を変えたものが多く見られます（賛否両論はありますが...）。老朽化や再開発を伴うなど背景は異なりますが、交通拠点としてだけでなく、都市の顔として、集客拠点として生まれ変わっています。そんな駅をいくつか紹介します。

## 100万都市

巨大な横長ビルと大空間・大階段を持つ京都駅(H9改)、超高層ツインタワーの名古屋駅(H12改)、超高層タワーの札幌駅(H15改)の変身は有名です。いずれも駅ビルの高層化、巨大化、百貨店や娯楽施設等との複合化により、以前とは比較にならない集客拠点そしてランドマークに生まれ変わりました。



京都駅



札幌駅



名古屋駅

## 観光都市～長崎駅・函館駅

### 長崎駅

長崎駅(H12改)では、商業、シネコンなどの娯楽機能を複合した駅ビルができ、駅舎との間に幕の大屋根がかけられて、大空間の広場が誕生しています。



### 函館駅

函館駅(H15改)はガラスを多用した、シンプルでモダンなデザインの駅に変わりました。



駅舎中央に高い円筒形の吹き抜けがあり、開放的な空間を演出しています。

ホームから改札、駅外へと全く段差がなく、通路も広くて歩きやすかったです。

デンマークの鉄道会社との共同設計だそうです。

## 延伸～小倉駅・八戸駅・豊橋駅

### 小倉駅

JR九州最大の駅ビル小倉駅(H10改)は、駅ビルとモノレール高架駅が一体構造になった日本初の複合建築物だそうです。

モノレールがビルに吸い込まれていく光景は確かに珍しいです。



天井が非常に高く、とても広いコンコースは、色のトーンも落としてあって、洒落た印象的な空間です。



### 八戸駅

八戸駅(H14改)は東北新幹線の延伸で生まれ変わりました。

商業施設やホテル等が入った複合ビルができています。



ガラスが多用され、300mを超える長さの楕円筒状の巨大なシェルターで覆われたホームとその外観が印象的です。



## 豊橋駅

豊橋駅では、H8に駅の東西の連絡通路と橋上駅舎、H9に駅ビル、H10に駅前広場ができ、市電が駅前広場まで延伸されました。

この市電と、きれいで広い連絡通路、モニュメントや水や植栽などたくさんのもので設置された広くて大きな人工地盤が特徴です。(県庁所在地以外を走る貴重な市電です。知ってましたか？ 他には堺、函館、高岡ぐらいしかないと思います)



## 高架化～帯広駅



帯広駅(H8改)は鉄道の高架化に伴い、駅がリニューアルされました。

駅ビルはなく、高架下に商業施設などが入り、駅周辺は整備の途中です。

駅前広場は降り立った瞬間、驚きます。「広い。何でこんな駅に～。」って感じです。

お菓子和豚丼が有名で、アメリカ牛肉輸入停止で豚丼は全国区になりました。



## 岐阜駅

岐阜駅(H9改)も帯広と似た感じです。



駅前広場の水景施設で鮎を育てているというか、鮎がいます。



## 更に...これからのリニューアル駅

### 東京駅

東京駅では八重洲側に超高層のツインビルを計画していますし、金沢駅では駅前広場に巨大なガラス張りのアトリウムを建設中です。姫路駅や奈良駅も高架化が進められており、駅が大きく変わることでしょう。

### 大阪駅

大阪駅は...と言うと、高層の四角い箱の駅ビルと老朽化した駅舎があるだけで、関西圏いや西日本を代表する駅としては本当に貧相です。

しかし、やっと生まれ変わります。と言っても平成23年の話ですが...。全面改修工事も始まっています。

発表のCGによると、ホーム上にドームを新設し、アクティ大阪、新北ビル(三越)、橋上駅舎とホームが大空間として一体的に演出され、国内でも類を見ない駅になるようです。梅田北ヤードの開発とも合わせて、大阪の将来の顔に期待しています。



J R西日本HPより